

# 結果の概要

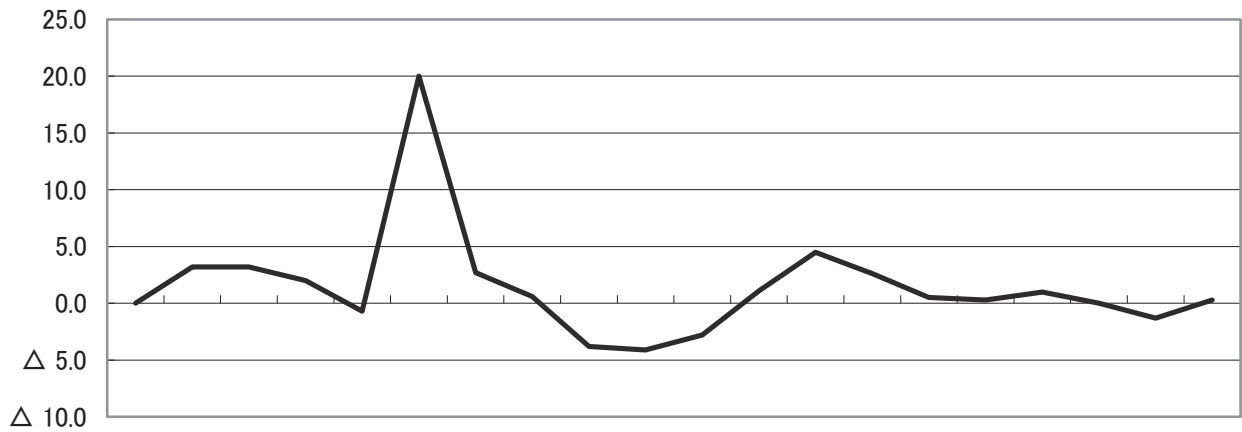
## 1. 総人口

平成27年10月1日現在の出雲市人口は171,938人です。前回調査（平成22年）と比較すると、453人（0.3%）増加しました。

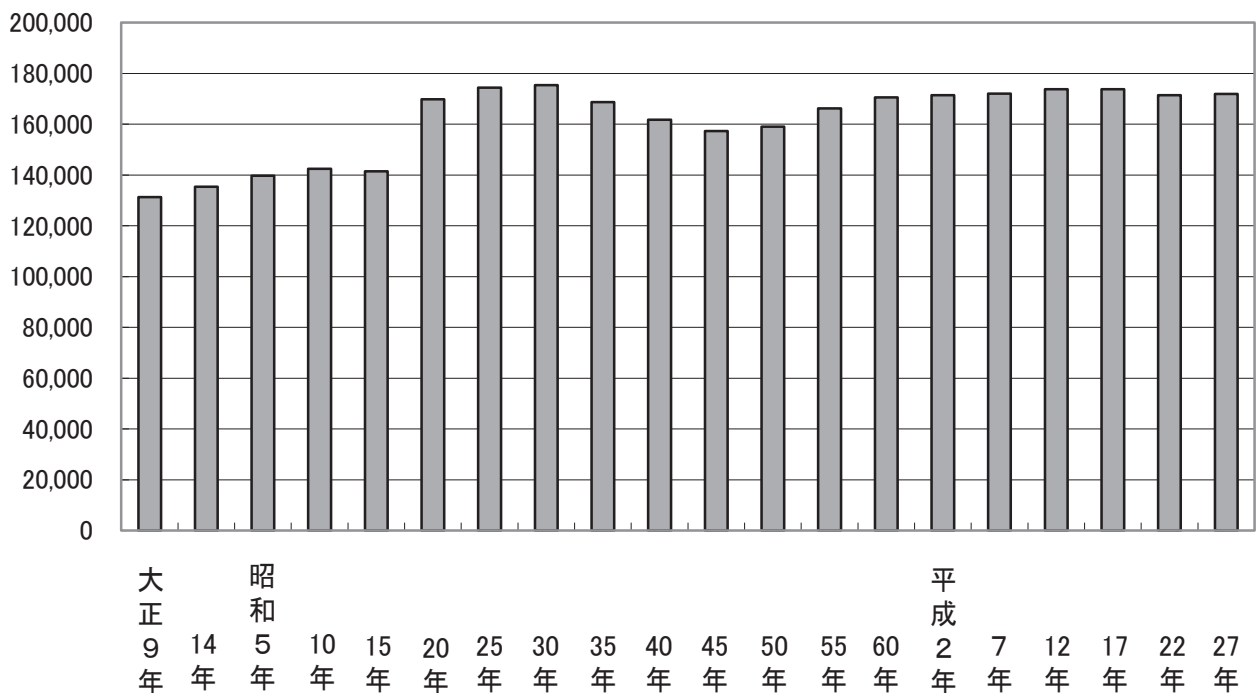
大正9年の第1回国勢調査時には、現市内区域の人口は131,256人で、以降増加傾向が続いていました。昭和30年調査では17万5千人を超えましたが、その後高度経済成長に伴う先進工業地域への人口流出などにより、昭和35年から昭和45年にかけて減少しました。

昭和50年からは、地方の企業誘致による全国的なUターン現象や島根医科大学（現島根大学医学部）・県立看護短期大学（現島根県立大学出雲キャンパス）の開学、住宅団地の開発などにより再び増加に転じ、昭和60年調査では再び17万人を突破しました。人口減少の著しい島根県にあって、平成2年調査からほぼ横ばい状態が続いています。

グラフ1 人口増減率の推移（%）



人口（人）



地区別人口をみると、塩冶地区が16,192人で最も多く、市全体の9.4%を占めています。

平成22年と比較して増加率が一番高かったのも塩冶地区の9.8%で、5年間で1,444人増加という伸びを示しています。以下川跡地区(8.5%)、四絡地区(7.9%)、伊波野地区(5.9%)、直江地区(4.6%)の順となり、16地区が増加しています。

一方、減少した地区(地域)をみると、平成22年と比較して佐香地区が16.0%の減少率となっています。このほか、山間部での人口減少傾向が続いています。

表1 地区別人口と増減率

単位:人、%

地区	人口			増減率	
	平成27年	平成22年	平成17年	平成27/平成22	平成22/平成17
総数	171,938	171,485	173,751	0.3	△ 1.3
出雲地域	92,074	89,020	88,805	3.4	0.2
今市	6,276	6,470	6,515	△ 3.0	△ 0.7
大津	9,525	9,433	9,555	1.0	△ 1.3
塩冶	16,192	14,748	15,204	9.8	△ 3.0
古志	2,117	2,133	2,280	△ 0.8	△ 6.4
高松	9,883	9,666	9,381	2.2	3.0
四絡	11,524	10,678	10,401	7.9	2.7
高浜	3,729	3,622	3,452	3.0	4.9
川跡	9,752	8,988	8,265	8.5	8.7
鳶巣	1,557	1,539	1,573	1.2	△ 2.2
上津	1,236	1,397	1,498	△ 11.5	△ 6.7
稗原	1,780	1,952	2,048	△ 8.8	△ 4.7
朝山	1,753	1,915	2,062	△ 8.5	△ 7.1
乙立	604	711	782	△ 15.0	△ 9.1
神門	7,445	7,195	6,924	3.5	3.9
神西	3,716	3,702	3,782	0.4	△ 2.1
長浜	4,985	4,871	5,064	2.3	△ 3.8
平成	0	0	19	-	△ 100.0
平田地域	25,294	26,908	28,071	△ 6.0	△ 4.1
平田	6,525	6,886	7,052	△ 5.2	△ 2.4
灘分	3,524	3,691	3,864	△ 4.5	△ 4.5
国富	2,895	2,878	2,856	0.6	0.8
西田	1,815	1,891	1,884	△ 4.0	0.4
鰐淵	639	720	771	△ 11.3	△ 6.6
久多美	2,192	2,424	2,547	△ 9.6	△ 4.8
桧山	1,365	1,448	1,540	△ 5.7	△ 6.0
東	2,526	2,604	2,754	△ 3.0	△ 5.4
北浜	1,102	1,276	1,416	△ 13.6	△ 9.9
佐香	1,377	1,639	1,852	△ 16.0	△ 11.5
伊野	1,334	1,451	1,535	△ 8.1	△ 5.5
佐田地域	3,406	3,816	4,213	△ 10.7	△ 9.4
須佐	1,960	2,189	2,417	△ 10.5	△ 9.4
窪田	1,446	1,627	1,796	△ 11.1	△ 9.4
多伎地域	3,543	3,767	3,905	△ 5.9	△ 3.5
湖陵地域	5,270	5,369	5,732	△ 1.8	△ 6.3
大社地域	14,342	14,916	15,581	△ 3.8	△ 4.3
大社	5,168	5,537	6,068	△ 6.7	△ 8.8
荒木	6,030	6,004	6,012	0.4	△ 0.1
遙堪	2,268	2,358	2,309	△ 3.8	2.1
日御碕	665	769	918	△ 13.5	△ 16.2
鵜鷺	211	248	274	△ 14.9	△ 9.5
斐川地域	28,009	27,689	27,444	1.2	0.9
莊原	7,080	7,233	7,332	△ 2.1	△ 1.4
出西	4,931	4,798	4,692	2.8	2.3
伊波野	5,949	5,619	5,339	5.9	5.2
直江	3,787	3,620	3,303	4.6	9.6
久木	2,310	2,366	2,487	△ 2.4	△ 4.9
出東	3,952	4,053	4,291	△ 2.5	△ 5.5

人口の男女別をみると、男性82,707人に対して、女性は89,231人で6,524人多くなっています。人口性比(女性100人に対する男性の人数)は92.7人です。

## 2. 年齢別人口

人口を年齢別にみると、年少人口（15歳未満）23,617人、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）97,382人、老年人口（65歳以上）49,563人となっています。平成22年と比較して、年少人口及び生産年齢人口はそれぞれ3.2%、4.9%減少、老年人口11.2%増加しており、少子高齢化が急速に進んでいることを示しています。

また、老年化指数（年少人口に対する老年人口比率）は209.9ポイントになりました。平成22年と比較して、27.0ポイント増加しました。県全体では258.7ポイントです。

表2 年齢(3区分)別人口

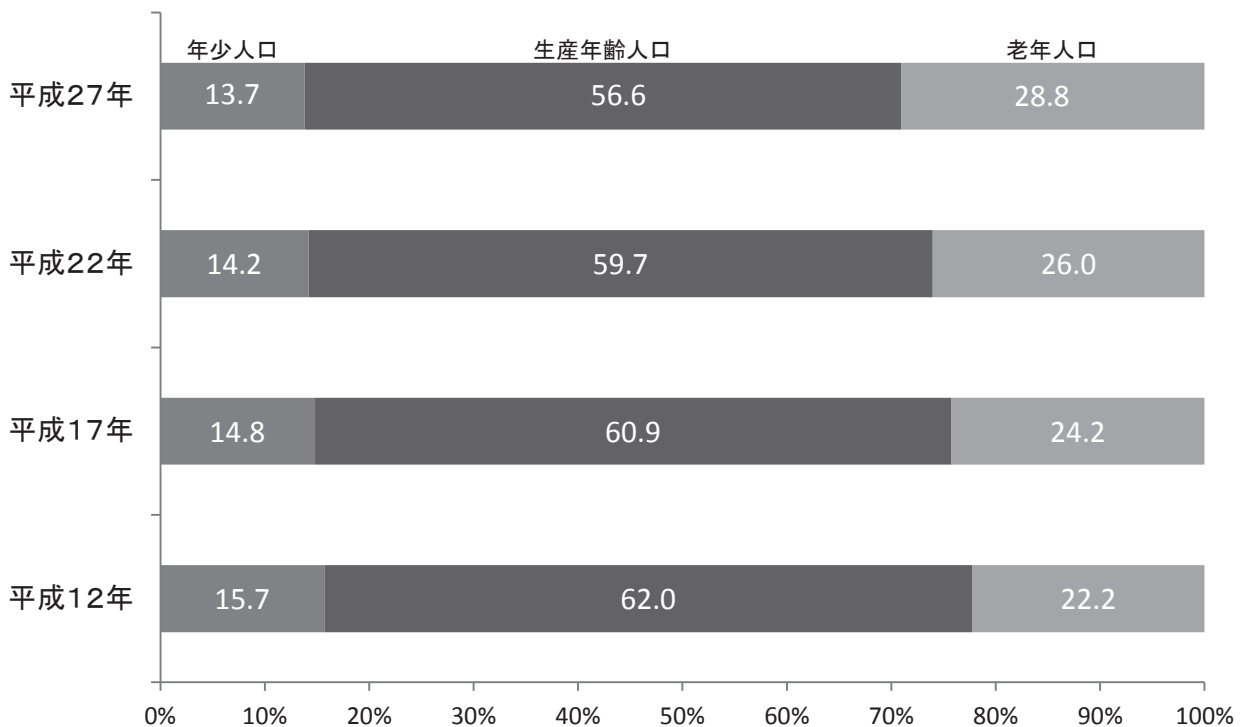
単位:人、%

地区	人口						増減率	
	平成27年		平成22年		平成17年		平成27/平成22	平成22/平成17
総数	171,938	(100.0)	171,485	(100.0)	173,751	(100.0)	0.3	△ 1.3
年少人口	23,617	(13.8)	24,402	(14.2)	25,633	(14.8)	△ 3.2	△ 4.8
生産年齢人口	97,382	(57.1)	102,375	(59.7)	105,863	(60.9)	△ 4.9	△ 3.3
老年人口	49,563	(29.1)	44,584	(26.0)	42,050	(24.2)	11.2	6.0

(注)総数には「年齢不詳」を含む。

年少人口指数（生産年齢人口に対する年少人口比率）は24.3ポイント、老年人口指数（生産年齢人口に対する老年人口比率）は50.9ポイントになっています。

グラフ2 年齢(3区分)別人口構成比の推移



年齢別人口の割合を地区別にみると、年少人口は川跡地区16.6%、四絡地区16.4%、伊波野地区16.2%など、人口の増加している地区が高くなっています。逆に、人口が減少している鵜鷺地区4.7%、日御碕地区6.5%、佐香地区6.8%などでは、割合が低くなっています。

老年人口の割合は、鰯淵地区42.9%、北浜地区43.5%、日御碕地区46.9%で、鵜鷺地区では59.3%と、特に高い数値を示しています。

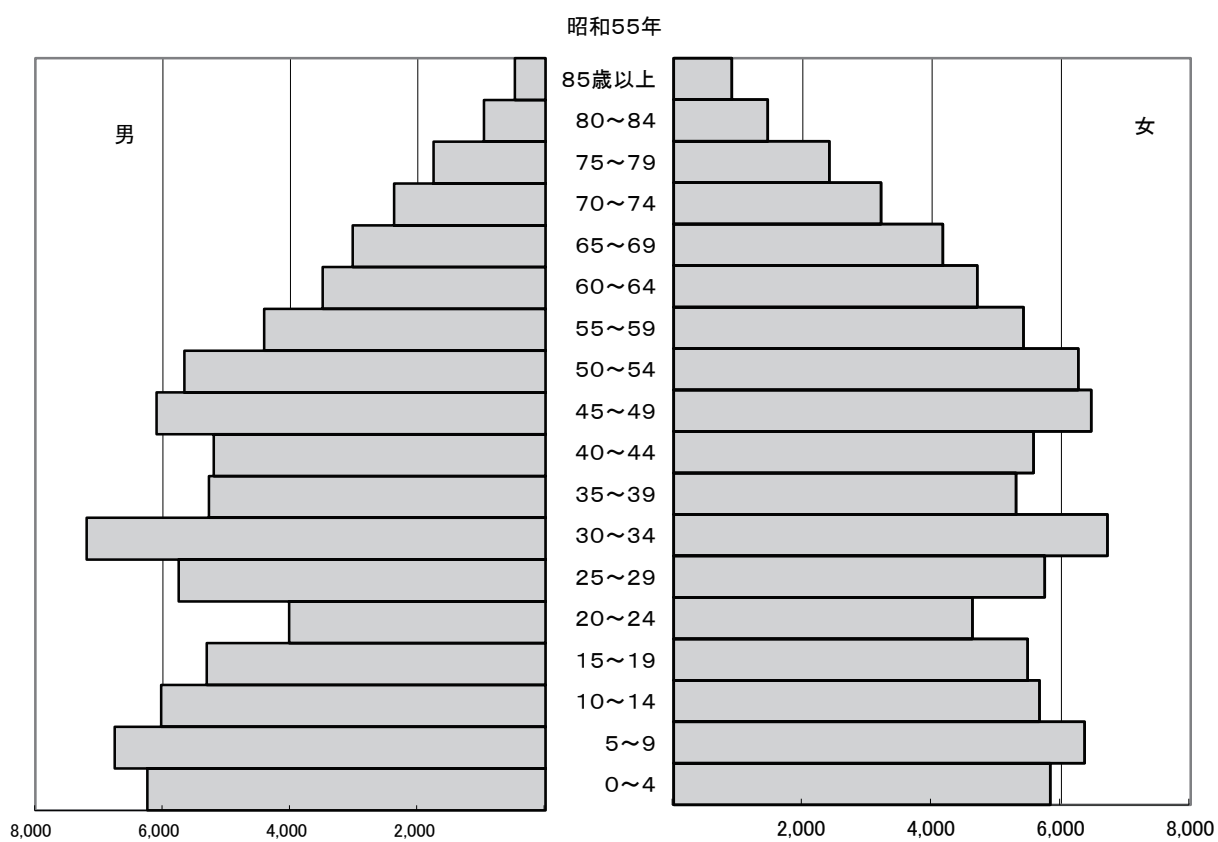
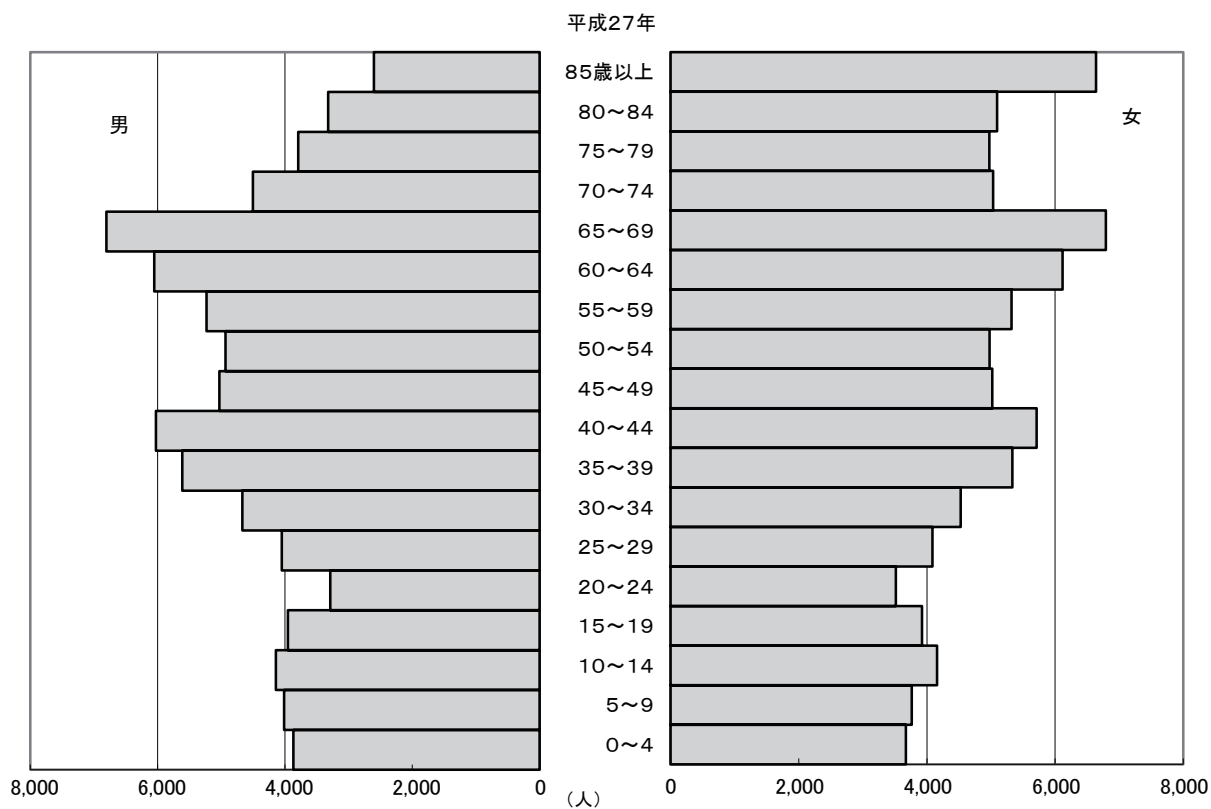
表3 地区、年齢別(3区分)別人口の割合

単位: %

地区	総数(人)	年少人口比率	生産年齢人口比率	老年人口比率
		(15歳未満)	(15歳～64歳)	(65歳以上)
総数	171,938	13.8	57.1	29.1
出雲地域	92,074	14.7	59.4	25.9
今市	6,276	12.9	57.0	30.1
大津	9,525	13.8	58.6	27.6
塩冶	16,192	14.2	63.7	22.1
古志	2,117	11.3	53.3	35.4
高松	9,883	15.9	59.7	24.4
四絡	11,524	16.4	62.8	20.8
高浜	3,729	15.4	55.2	29.4
川跡	9,752	16.6	62.9	20.5
鳶巣	1,557	15.0	54.1	30.9
上津	1,236	9.6	53.6	36.8
稗原	1,780	10.3	52.3	37.4
朝山	1,753	10.5	54.0	35.5
乙立	604	9.6	48.3	42.1
神門	7,445	15.9	57.6	26.5
神西	3,716	13.4	58.3	28.3
長浜	4,985	14.4	53.7	31.9
平成	-	-	-	-
平田地域	25,294	12.3	54.3	33.4
平田	6,525	13.1	55.8	31.1
灘分	3,524	13.5	54.7	31.8
国富	2,895	14.5	55.5	30.0
西田	1,815	9.9	49.2	40.9
鰐淵	639	10.9	46.2	42.9
久多美	2,192	13.7	54.4	31.9
桧山	1,365	12.1	56.4	31.5
東	2,526	12.4	55.3	32.3
北浜	1,102	7.4	49.1	43.5
佐香	1,377	6.8	52.8	40.4
伊野	1,334	11.4	55.6	33.0
佐田地域	3,406	10.2	49.7	40.1
須佐	1,960	10.6	50.8	38.6
窪田	1,446	9.8	48.1	42.1
多伎地域	3,543	11.0	51.2	37.8
湖陵地域	5,270	12.9	52.3	34.8
大社地域	14,342	12.5	51.0	36.5
大社	5,168	10.6	49.0	40.4
荒木	6,030	14.8	53.0	32.2
遙堪	2,268	13.1	53.0	33.9
日御碕	665	6.5	46.6	46.9
鵜鷺	211	4.7	36.0	59.3
斐川地域	28,009	14.3	57.7	28.0
荘原	7,080	13.4	57.0	29.6
出西	4,931	15.1	57.6	27.3
伊波野	5,949	16.2	62.3	21.5
直江	3,787	14.2	56.7	29.1
久木	2,310	14.1	53.2	32.7
出東	3,952	12.3	56.0	31.7

(注) 総数には「年齢不詳」を含む。

### グラフ3 人口ピラミッド

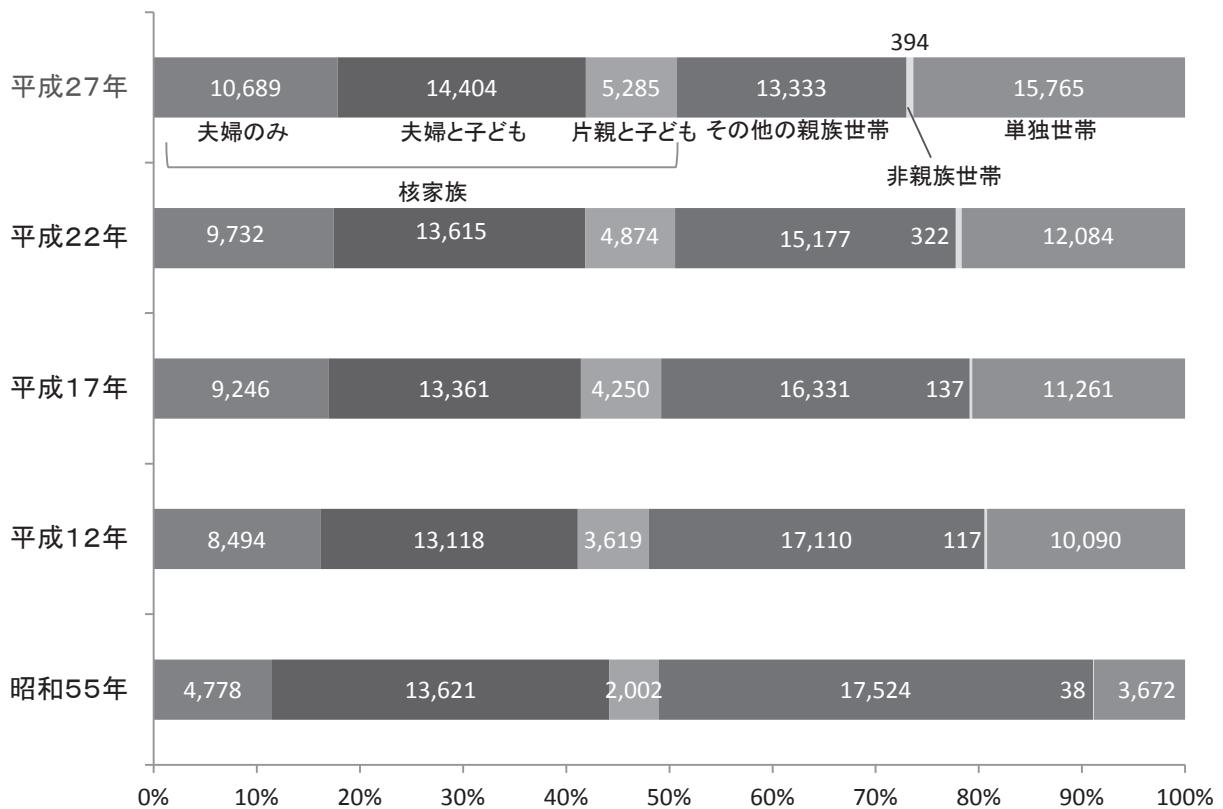


### 3. 世帯数

出雲市の総世帯数は60,130世帯で、平成22年と比較すると、4,178世帯（7.5%）増加しています。そのうち、一般世帯数は59,945世帯です。一般世帯の1世帯あたり世帯人員は平成22年と比較すると0.21人減少し、2.79人でした。

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯数は30,378世帯で、平成22年から7.5%増加し、一般世帯の50.7%を占めています。また、単独世帯数が15,765世帯と一般世帯の26.3%を占め、増加してきています。

グラフ4 一般世帯の家族類型別割合の推移



#### 4. 65歳以上世帯員のいる世帯

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は30,232世帯で、一般世帯の50.4%を占め、平成22年から8.2%増加しています。

65歳以上の高齢者単身者数は5,037人で、平成22年に比べ31.4%増加しており、急速な増加がみられます。

表6 世帯人員(7区分)別65歳以上世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上世帯人員

単位:世帯、人

区分	総数	世帯人員 1人	世帯人員 2人	世帯人員 3人	世帯人員 4人	世帯人員 5人	世帯人員 6人	世帯人員 7人以上
65歳以上世帯員のいる一般世帯数	30,232	5,037	9,275	5,647	3,631	2,739	2,266	1,637
一般世帯人員	167,490	15,765	30,452	33,309	34,308	23,250	16,512	13,894
65歳以上世帯人員	46,063	5,037	14,961	9,234	5,705	4,259	3,824	3,043

表7 年齢(5歳階級)、男女別高齢単身者数

単位:人

区分	総数	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85歳 以上	60歳 以上
65歳以上の高齢単身者数	5,037	1,299	894	966	995	883	6,189
男	1,664	650	326	273	239	176	2,330
女	3,373	649	568	693	756	707	3,859

表8 夫の年齢(7区分)、妻の年齢(7区分)別60歳以上夫婦のみの世帯数

単位:世帯

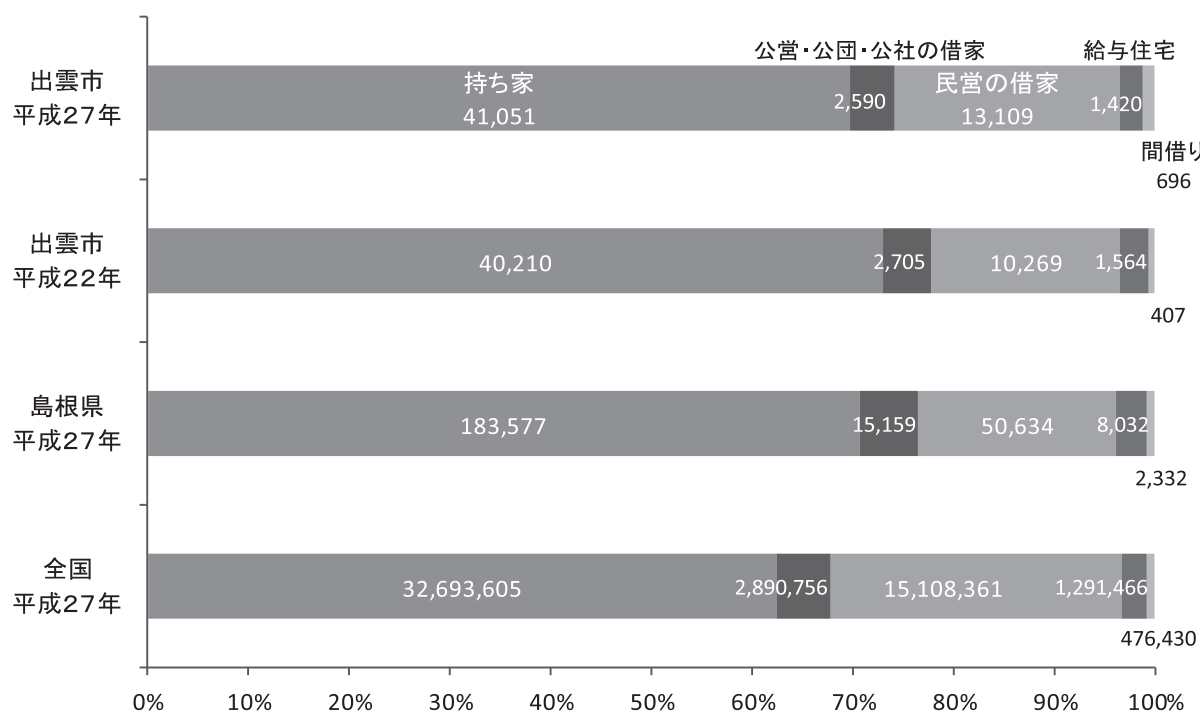
夫の年齢 (5歳階級)		妻が60歳以上							妻が 60歳未満
		総数	60~ 64歳	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85歳 以上	
夫が 60歳 以上	総数	7,010	1,517	1,986	1,460	1,164	664	219	726
	夫が60~64歳	720	611	95	9	2	2	1	560
	65~69歳	1,884	810	1,001	60	10	2	1	139
	70~74歳	1,606	89	784	669	58	6	-	19
	75~79歳	1,344	6	93	622	551	69	3	6
	80~84歳	991	-	12	95	484	382	18	-
	85歳以上	465	1	1	5	59	203	196	2
夫が60歳未満		82	62	16	1	2	1	-	-

## 5. 住 宅

住宅に住む一般世帯数は58,866世帯で、そのうち持ち家に住む世帯数が41,051世帯と最も多く、69.7%を占めています。持ち家の割合は減少してきており、今回も平成22年と比較して3.2ポイント下がっています。逆に民営の借家に住む世帯数は13,109世帯(22.3%)で、割合が高くなっています。

持ち家に住む世帯の割合は、全国平均の62.3%と比べると7.4ポイント高く、島根県全体の70.7%よりも低い比率になっています。

グラフ5 住宅に住む一般世帯の所有関係別割合の推移



## 6. 労働力人口

15歳以上人口146,945人のうち、労働力人口(就業者と完全失業者数)は89,652人で、平成22年から0.3%増加しました。

なお、完全失業者数は2,506人で、平成22年より1,346人(男性969人、女性377人)減少しています。

また、労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は61.0%です。男性が70.3%に対して、女性は52.6%になっています。



表9 労働力状態(3区分)、男女別15歳以上人口

単位;人

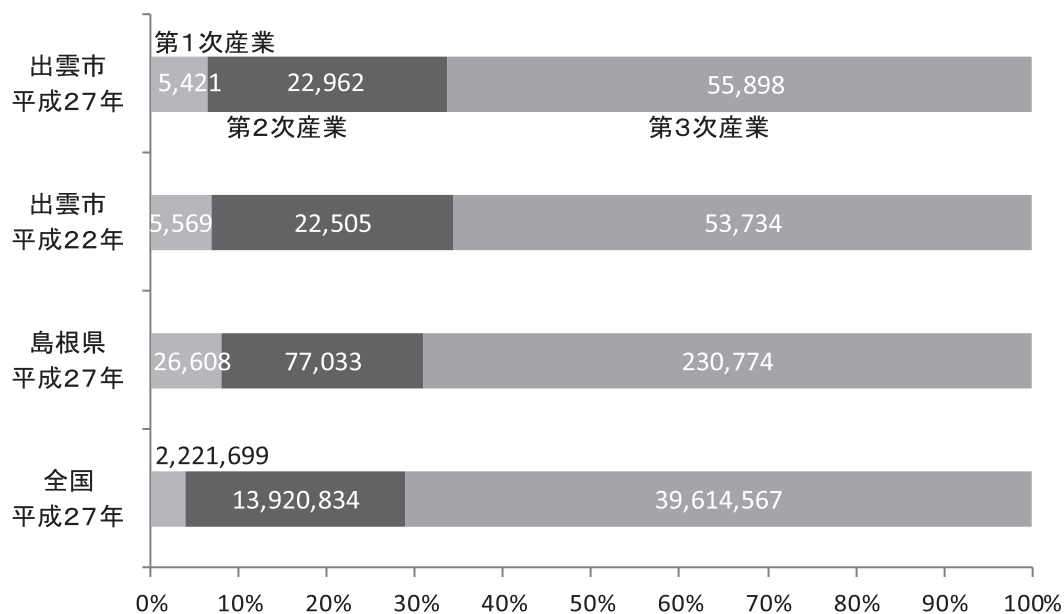
労働力状態(3区分)	平成27年			平成22年		
	総数	男	女	総数	男	女
15歳以上人口	146,945	69,876	77,069	146,959	69,626	77,333
労働力人口	89,652	49,143	40,509	89,407	49,749	39,658
就業者	87,146	47,484	39,662	85,555	47,121	38,434
完全失業者	2,506	1,659	847	3,852	2,628	1,224
非労働力人口	54,114	19,001	35,113	51,427	16,819	34,608
労働力率(%)	61.0	70.3	52.6	60.8	71.5	51.3

注)総数には労働力状態「不詳」を含む。

就業者数を産業3部門別にみると、第1次産業5,421人、第2次産業22,962人、第3次産業55,898人となっています。平成22年と比較して、第1次産業では2.7%(148人)減少しましたが、第2次産業では2.0%(457人)、第3次産業では4.0%(2,164人)増加しています。

全就業者に占める割合では、第1次産業が6.4%、第2次産業が27.3%、第3次産業が66.3%です。

グラフ6 産業(3区分)別15歳以上就業者の割合



(注)分類不能は含まず。

就業者数を産業大分類別にみると、「製造業」15,102人(17.3%)で最も多く、以下「医療・福祉」13,577人(15.6%)、「卸売・小売業」が13,149人(15.1%)、「建設業」7,804人(9.0%)となっています。

第1次産業の90.6%を占める「農業・林業」は4,912人(5.6%)となっています。

グラフ7 産業（大分類）別15歳以上就業者の割合

